

お知らせ

第10回 紀州湯浅のシロウオまつりが開催されます

湯浅町三大祭りの一つ「紀州湯浅のシロウオまつり」が下記の日程で行われます。今年もフリーマーケットなどイベント内容も盛りだくさん！また、今年度は第10回開催記念イベントとして、『夜のシロウオ漁』も行われますので、みなさん是非お越しください。

【第10回 紀州湯浅のシロウオまつり】

■日 時：3月21日（金）[祝日]
午前10時00分～午後2時00分

■場 所：島之内商店街周辺

【第10回開催記念イベント 『夜のシロウオ漁』】

■日 時：3月6日（木） 午後7時00分～午後9時00分

■場 所：広橋周辺



【『シロウオまつり』の会場】



『五月人形』を公開展示・提供していただける方を募集します

『ひな人形展』の際には、多くの皆さまにご協力いただきありがとうございました。おかげをもちまして、町民や観光客にも大変喜んでいただき伝建地区の新たな活性化のきっかけになったのではないかと考えます。

さて、『ひな人形展』に続き、『五月人形』についても公開展示を行いたいと考えております。伝建地区住民の皆さまで『五月人形』をご自宅で公開展示していただける方、もしくは、ご提供していただける方がおられましたら、3月20日（木）までに事務局へご連絡ください。

■連絡先：（事務局）湯浅町産業観光課
伝建推進室 前田・中尾
Tel 64-1128（直通）



3/16(日)『おもちゃ博物館』リニューアルオープン！

■開館：午前10時～午後4時まで ■場所：湯浅町湯浅679-2（北鍛冶町）

湯浅伝建地区保存協議会

まちなみ瓦版に皆様のご要望などを掲載していきたいと思っております。ご意見・ご要望などございましたら、保存協議会委員までご連絡をお願いします。

編集委員

楠山 吉雄
半邊 宗五
妻木 禎子
道津 節子
齋藤 春太郎

まちなみ瓦版

■平成26年3月3日

■第20号

■発行：湯浅伝建地区保存協議会

■発行責任者：木下 智之

伝建地区は地元小学生の“学びの場”

★1月21日（火）、24日（金）、31日（金）に湯浅小学校3年生の児童がそれぞれのクラスに分かれて、甚風呂へ社会見学に訪れました。

社会科学習『今にのこる昔とくらしのうつりかわり』において、昔の生活の様子や道具の使い方を理解し、人々の知恵や生活様式の変化について考えることを目的としたもので、毎年、甚風呂で行われています。甚風呂スタッフ2名の案内のもと、生徒たちは初めてみる古民具に興味津々でした。また、ス



タッフの説明を一生懸命聞きながらメモを取り、「この道具の使い方はわかりますか？」という問いかけにも積極的に手を挙げて答えていました。



★2月3日（月）に町並み散策を通じて湯浅の歴史と文化を学ぼうと、山田・田栖川・田村小学校の5年生による3校合同の学習会が行われました。クイズ形式のウォークラリーでは、地元の方からヒントをもらいながら、クイズの答えを見つけ出していました。

散策後の感想では、「町並みの範囲が広がったので答えを探すのに苦労した」や「道に迷わないように目印を決めて上手く散策できた」など、個々に工夫して散策し、町並みの魅力を発見した様子でした。その後、『深専寺聖護院御殿』見学のため熊野古道を歩き、『熊野古道』や『立石道標』、『大地震津波心得之記碑』などについて学びました。子どもたちがふるさと湯浅の良さを知り、愛着を感じる機会をもつことは、とても良いことだと思います。



1/26『文化財防火デー』講習会を開催

昭和24年1月26日に国宝である法隆寺の金堂が火災により消失したことを受けて、文化財を火災から守ることの大切さを後世に伝え、日ごろから火災を出さないことを目的として、毎年1月26日を『文化財防火デー』と定め、全国で文化財の防火活動が行われています。

湯浅が重伝建地区の選定を受けてから8年目を迎えます。その間、町並みの修理・修景が行われ保存されてきました。しかし、災害や人災による損失は、保存されてきた日本の大切な文化を失うことになりかねません。

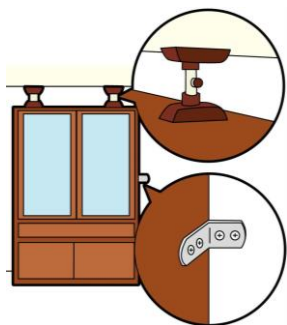
湯浅伝建地区では、1月26日（日）に北の町老人憩の家で、湯浅伝建地区自主防災組織連絡協議会が主催となり、湯浅広川消防組合の消防隊員による「家庭における火災予防について」と題した講演を通じて防火の知識を深めました。

火災をなくすことは、一人ひとりの意識の持ち方と、発生したときにいかに協力して初期消火するかがとても重要になってきます。これからも各区・各家庭で防災の大切さを話し合い、防災訓練を継続しましょう。



【自宅・町並みに活かせる防火対策】

- ① 地震時における家具転倒などを防ぐための対策
(タンス、電気製品のストッパー付け)
- ② たこ足配線による火災発生源となるコンセントの管理方法
(コンセントを時々引き抜き、ホコリを拭き取る。
コンセントは根元まで差し込む。配線の上に物を載せない。
配線を束ねない。)
- ③ 避難時におけるガスの元栓や電源の遮断機能の確認
(古い型の配電盤は自動的に遮断できないので、新しいものに換える。)
- ④ 日ごろの家庭内の火災発生時の対応策を考えておく
(家庭での消火器の設置。油火災の消火に水は禁物。
燃えやすいものは家の周りに置かない。火事的时候は
大きな声で隣近所に知らせる。etc.)
- ⑤ 地区内の初期消火の対応策として2号消火栓の設置などを検討



湯浅町伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催

日時：2月14日（金）

場所：湯浅町役場第2庁舎2階 多目的ホール

出席者：委員9名、代理出席者2名、県教委随員1名、
垣内教育長、事務局3名

欠席者：学識経験者3名（大雪の影響により欠席）

【報告事項】

★事務局より以下の内容が報告されました。

（1）平成25年度の保存地区における取り組みについて

- ◆ 伝建地区内での視察の受け入れや保存協議会の活動について
- ◆ 湯浅町内小学校3校合同伝建地区学習会について
- ◆ 和歌山県ヘリテージマネージャー講習会の開催について

※これまでの『まちなみ瓦版』に掲載しております。

- ◆ 湯浅伝建地区保存協議会発行『まちなみ瓦版』について

（2）平成25年度保存修理事業等の経過報告

- ◆ 平成25年度実施事業（間接事業7件＋直接事業1件）の進捗状況説明

【議 事】

★事務局より審議事項について提案されました

（1）平成26年度保存修理事業計画物件について

- ◆ 平成26年度計画物件の説明（間接事業5件）

（2）公の施設の指定管理について

- ◆ 指定管理制度を導入する『甚風呂』と『湯浅まちなみ交流館』について説明

⇒以上の内容で審議が行われ、全議題について全会一致で承認されました。

〔保存審議会から出された意見〕

- ・建物だけでなく、景観の整備（大仙堀の美化など）についても計画的に進めてほしい。
- ・伝建地区の近くで大型バスが駐車できるスペースを確保してほしい。
- ・湯浅伝建地区選定10周年記念に向けたイベントを計画してほしい。

まちの話題

伝建地区で『ひな人形展』を開催！

甚風呂と北町ふれあいギャラリー、木下邸（北中町）に住民の方からご提供いただいた『ひな人形』を展示しました。展示期間は3月4日（火）までですが、好評につき来年も開催したいと思います。

【北町ふれあいギャラリー】

■内 容：昭和40・50年代のひな人形、昭和初期の御殿飾り、手作りのひな人形

【甚風呂】

■内 容：明治時代～昭和時代のひな人形、大正時代の御殿飾り

【木下邸（北中町）】

■内 容：平成のひな人形（京雛、立ち雛、木目込み雛）

【湊井邸（北中町）】

■内 容：昭和50年代・平成のひな人形

